

江 工 会 会 報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話 (代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

「卒業生会として」

会 長 土 井 正 人

(工業化学科 昭和三十九年卒業)



令和三年あ
けましておめ
どうござい
ます。皆様

はこの年の初め如何お過ごし
でしょうか、世界中に荒れま
くっているコロナに振りまわ
される年となるのか、一日も
早く終息してほしいと願うの
は皆一緒でしょう、先の全く
見えない不安な状況で社会は
動いております。この不安な
時をどう越えるのか人知が問
われています。それでも元氣
で乗り越えましょう。

昨年お願いしておりました
母校の後援会へのご寄附募金
について江工会より五十八万
円余と地元企百万円及び江
津市より五十万円と合計
二百十二万八千円余りとなり

学校の教育支援のため活用さ
れることとなり、学校では生
徒募集のため学校紹介のホー
ムページの更新などに活用さ
れています。ご寄附いただき
ました支部や個人の皆様に改
めて厚くお礼申し上げます。
本当にありがとうございます
た。

さて江津市におきましては
平成三十年に続き七月に江の
川増水にて大きな災害に見舞
われました。自然災害は何時
どこで起こるかわかりません
が、こう続くと腹立ちさより、
諦めが先に来ます。幸い人的
被害が無かったのが「良かった」
の一言です。

市役所新庁舎について令和
三月完成、五月移転完了の予
定で着々と進んでおります。

そこで現庁舎の後をどう利用
するか広くアイデア募集し
ていますが、未だに良案なく
多くの皆さんの知恵を募って
います。卒業生の皆さん、ふ
るさと江津のため良きアイ
ディアをお寄せください。

江工会の現況ですが、各支
部とも高齢化が進み、新しい
参加者も少なく活動を中止さ
れる支部も出ております。山
口・九州・弥栄など連絡を受
けております。

関東・関西・浜田支部は活
発に活動されていますが、今
年の総会は開催できるかどう
か心配しています。卒業生会
としましては、社会を支える
人材を育成する石見部唯一の
工業高校の強みを生かした教
育の場の発展と継続を願い、
後援会と力を合わせ、しっか
り支えて行かなければと決意
を改めて致しております。ま
ずは何としても入学生確保が
急務であります。出口は沢
山あるのですが、生徒数が減
少するのでは何とも手の打ち
ようがありません。県外生の
受け入れもできます。孫にふ
るさとでの教育を進めてみて
ください。

そして教える側の人材も、
不足しています。高校卒業で
その教科に関連する実務経験
が三年あれば、教師になれる
道が開けています。卒業生の
皆さんどうか挑戦してみてください



「ご挨拶」

校長 田 村 実

(電気科 昭和五十五年卒業)



江工会員の
皆様には、新
春をお元氣で
お迎えのこと
とお慶び申し上げます。平素

より、母校の教育活動に格別
のご支援を賜り深く感謝申し
上げます。
コロナ禍となり、様々なと
ころで影響が現れた昨年であ
りましたが、この困難に立ち
向かうには、校訓「質実剛
健」「不撓不屈」を一人ひと
りがしっかりと受け止め、何事
にも積極的に挑戦することだ
と思っております。

本校は、昨年全県に先駆け
て学校グラウンドデザインを策
定し、六月には、江津市内県

ださい。期待して待っていま
す。

それでは今年一年が本当に
明るい年になることを願いつ
つ!!

立学校三校によるコンソーシ
アムを設立しました。また、
同時に学校ホームページを刷
新し、生徒募集に努めていま
す。

本コンソーシアムは、全国
的に例のない、普通高校・専
門高校・特別支援学校による
もので、各校のグラウンドデザ
インを達成しながら、協働活
動を通して、江津「未来人材」
の育成を目指すものです。コ
ンソーシアムに多様性を取り
込むことで、それぞれの得意
分野や強みを生かして、ある
種の化学反応を起こし、それ
ぞれの個性の違いから新たな
発見を見い出します。

また、本校の学校グラウンド
デザインを「地域産業を担う
テクノロジストの育成」とし、
地域や社会に貢献する人材を
育成することを使命としてい
ます。


進路関係では、十一月には就職希望者全員が希望の進路先に内定をいただきました。地元就職率も七十六%となり、過去最高となりました。これも偏に江工会の皆様のお力添えのおかげと感謝いたします。

が良くなり大変感謝しております。今後とも魅力ある学校づくりに目指し取り組んで参りますので、江工会の皆様には、一人一人が活躍できる本校を、県内外問わずご紹介いただければ幸いです。

“まちで学ぶ”を考えるチーム GO▶GOTSUコンソーシアム
GO▶GOTSU コンソーシアムはさまざまな人、団体、学校、地域とつながり、まちで学ぶ中で自分の未来、まちの未来を創造できる人材を育てます。

私たちが描く未来 ~ないもの・あるものから学ぶ~

県立学校3校での活動




つながる土台である3校がまず中心となって、お互いの課題解決や魅力をさらに高めていきます。

地域と一緒に！



学校の中だけでは学べない、現実に行き詰る課題や知られていない魅力を題材に地域の方と一緒に活動します。

小中学校、大学との連携



年齢が近い人との交流を通して、少しずつ多世代とのコミュニケーションの場を増やします。

さまざまな人と共に生きる



これからの変化の激しい時代を生き抜くために柔軟で、さまざまな視点を持ち、自分とは違う意見を受け入れることができる力を育てます。

自分ごととして行動できる



加速化する人口減少の中で、この街に住む一人一人がまずは身近な課題や魅力を自分ごととして捉えることができる力を育てます。

自分の得意を把握し活かせる



自分の好きや得意を理解することで、自らに対しての自信が付き、積極的に行動できる力を育てます。

部活動では、県総体等大きな大会が中止となり残念な思いをしましたが、各部活動とも前向きに取り組み成果が見え始めています。

諸先輩方の母校へのさらなる温かいご支援をお願いすると共に、皆様方のご活躍とご健康をお祈りしあいさつとさせていただきます。

リニューアルした学校ホームページのQRコードです。
休業日をのぞき毎日更新していますので是非ご覧ください。



万代堀

江津市では本年三月に防災機能を備えた新庁舎が完成し、新しいスタートを始めます。現庁舎の活用については、皆様の意見をもとに検討が進められます。

江工会会員皆様も良きアイデアをお寄せください。

さて、皆様ご存じだと思いますが、昨年の七月に江の川の氾濫により浸水被害がありました。三年に二度も同じ災害があり、人口減少・過疎化に拍車をかけられています。地球温暖化により異常気象が

「産業人材育成」

副会長 **藤田 厚**
(電気科 昭和四十三年卒業)

令和三年あけましておめでとうございます。江工会の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。コロナ禍で大変な状況下ではありますが、心を引き締めて、頑張っていたいただきたいと思っております。皆様の活躍を江津の地より念じています。

江津市では本年三月に防災機能を備えた新庁舎が完成し、新しいスタートを始めます。現庁舎の活用については、皆様の意見をもとに検討が進められます。

江工会会員皆様も良きアイデアをお寄せください。

さて、皆様ご存じだと思いますが、昨年の七月に江の川の氾濫により浸水被害がありました。三年に二度も同じ災害があり、人口減少・過疎化に拍車をかけられています。地球温暖化により異常気象が

もたらす影響は計り知れませんが、今年も台風やゲリラ豪雨による災害が起こりうるかもしれません、本当に江の川の治水対策を急ぐ必要があります。国の方には江の川の治水予算増額をお願いしています。卒業生の皆様も応援してください。

今、江津工業団地は誘致企業で満杯となり、現在、拡張工事が進められています。また、何社かが相談があるとお聞きしています。益々企業誘致が進み雇用が生まれることに期待をしています。

そのためにも、高校の魅力化推進事業を推し進め、一人でも二人でも入学する生徒が増えることに期待します。また、昨年発足した後援会を江工会が後押しして、地域の基幹産業を支える産業人材を輩出する江津工業を盛り立てていきたいものだと思います。

卒業生の皆様の応援をよろしくお願い申し上げます。それでは本年が皆様にとって素晴らしい年でありますように祈念しております。



浜田支部総会の様子 (令和2年7月18日)



『不撓不屈』の気概をもつて乗り越えよう

副会長・浜田支部

(建築科 昭和四十六年卒業)

岡 本 正 友



全国各地
で、ご活躍の
江津工業高校
同窓生の皆様

には、令和三年の新春を健やかに迎えられ心よりお慶び申し上げます。

昨年より日本のみならず全世界を恐怖に陥れているコロナは、まだまだ終息に至っていません。

母校が示す『不撓不屈』の

精神の下、油断することなく、お互いに思いやりをもって頑張つて頂きたいと思つていま

す。昨年予定されていた東京オリンピック・パラリンピックは、本年の開催に向けて調整されています。何としても世界のスポーツの祭典の事業の実現を願うばかりです。

さて、当地において多くの会合がコロナ禍で中止されている最中、浜田支部では弥栄支部を加えた支部の大同合併をした新組織で、対策を図りながら七月に総会を開催いたしました。

これからはウイズコロナの時代といわれています。人知

を尽くして臨機応変に対応しながら、江工応援歌に示す『なにくそ精神』の気概をもつて友情の和を広げていきたいと思つています。

「新年のごあいさつ」

副会長 福 田 稔

(工業化学科 昭和五十三年卒業)



新年あけましておめでとうござい

ます。江工会会員の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は大変な年でした。新型コロナウイルス感染症の影響で世の中が様変わりしました。「3密」は年末の流行語大賞に当選確実(今はまだ決まっています)だと思われ

れをコロナ対策に当てはめれば、

①身を清潔にし、命を守る行動を心がける。

②感謝の気持ちで口に出し、決して風評など口にしな

い。③自分だけでなく他者にも気を配り、さまざまな情報を得ることで心を惑わされな

い。①密閉→超臨場(メタ・リアリティ)

②密集→遠隔(リモート)

③密接→非接触

と読み替えることができると感染症の専門家がおっしゃっています。

今や「オンライン○○」は当然のことになっていきますし、

タッチパネル、ロボットなど次々にイノベーションが求められています。

新型コロナウイルスならぬ、メディアウイルスに感染した人が、ネット上に撒き散らす誹謗中傷が大きな社会問題になっていきます。ネット中傷の救済態勢が強化されたとはいえ、悪質な書き込みはなかなか収まらないのが現状のようです。

「匿名」というのは、良かったり悪かったりします。何を書いても顔が見えません。

ところで、ここ十年近く言われてきた「草食系男子」ならぬ「草食(系)女子」というのを聞くようになりまし

た。これは、本来の意味から少し外れますが、ネットが発達したおかげで自分の時間を満喫し、他者と接触しなくて

も日々が充実していると感じている人が多くなったということでしょう。おじさんたちの口角泡を飛ばしての議論など「キモイ」と言われ、人の目を見て話したら「こわい」

と言われる。ご時世です。こうなってみると逆に、「直のコミュニケーション」はいいものだと、おじさんは改めて

思ったりもします。新年のご挨拶からは随分と

横道にそれてしまいましたが、まもなく一世紀にもなろうとする開校以来の歴史を、途絶えさせてはいけないと切に思っております。

「江工会」の更なる発展のために、まずは皆様のご協力のもと、「3密」を避けた熱き議論を交わしながら、会員の拡充をしていかなければな

江工会支部だより

江津市役所支部

「近況報告」

支部長 佐々木 克

(建築科 昭和五十四年卒業)



令和三年を迎え、会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、送別会をはじめイベントは殆ど中止になりました。今年も、定期総会をはじめ歓迎会の開催を予定しておりますが、活

りません。アフターコロナ。これからのように時代が変化していかうとも「江津工業は永遠に不滅です」と申し上げさせていただきます。最後になりましたが微力ながら「江工会」のために頑張っていく所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

動の自粛継続を危惧しているところでもあります。各支部におかれましても、会合や活動の自粛が続く、この頃やつと動き出されたのではないかと思っております。

また、去る七月十三日から大雨により県内各地に大きな被害をもたらしました。被害を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、江津市におきましては、新庁舎の建設が本年三月末の完成を目指して着々と進んでおります。建設地は、シビックセンターゾーン内にあり、母校からは南へ約四〇〇

メートルの位置にあります。

この会報が皆様のお手元に届くころには約八割の完成に近づき、鉄筋コンクリート造四階建て瓦葺きの姿を見せていることと思います。この建設工事の経過については、江津市ホームページにおきましても配信しておりますので是非ご覧ください。この新庁舎建設工事に携わっていただいている現場監理スタッフ十一名のうち六名の方が母校出身者であります。コロナ禍の中において、通常通りの作業工程の進捗が困難な状況にありながら頑張っておられる姿に敬意を表したいと思います。

江津市では、毎年ポリテク



進路ガイダンス

の住居環境科と工業高校の建築科の生徒数名をインターンシップの受け入れをしております。昨年はそれぞれ一名を受入をいたしました。今回の工高生は県内の建築関係に就職を希望しており、近年まれにみる「やる気」のある生徒さんで、仕事に対する意気込みが感じられました。進路の選択肢の一つとして良い経験になったかと思えます。

先般、母校主催・市商工観光課共催による「ふるさとの魅力と働きを考える」(ワールドカフェ)に我が支部から会員二名が参加し、行政の役割についてPRをしてまいりました。これは、生徒(一・二年生対象)・関係者・地元事業所の人事担当の方が自由な雰囲気で見聞交換を行う中で、地元事業所のすばらしさを伝え、生徒等へのキャリア教育の一助とすることを目的に開催されました。「ふるさとで働くということがいかに素晴らしいか」を伝えるという趣旨で臨みました。活発な意見交換は少なかつたようですが、少しでも行政に関心を持っていたければ多少の成

果はあったのではないかと感じております。

昨年からは建築士試験の受験要項が変わり、実務経験がなくとも学科試験を受けることが可能になりました。これは卒業生が即戦力として、また、建築技術者の担い手の確保・育成について期待ができ、後輩の方々のご活躍はもとより、牽いては地域の発展に寄与することを願ってやみません。

最後になりましたが、江工会員の皆様のさらなるご活躍とご健勝を祈念いたしますとともに、江津市役所支部へのご指導、ご協力をよろしくお願いたします。

江津支部

「江津市近況報告」

浜 浦 重 実

(電気科 五十四年卒業)



日ごとに寒さが身にしみる頃となりました

が、江工会の皆様におかれましては、ますますのご健勝のことと存じますが、春頃から

コロナという疫病により、さぞかし環境整備や健康管理で御心痛とご苦労をされていると御察いたします。

現在私は、江津市内で島根電工という電気工事会社に所属しており、江津営業所の所長として、長きにわたり母校の膝元で勤務しております。未だに学校の先生方や市役所の先輩方、友人知人、更には後輩たちにもお世話になっております次第で、甚だ申し訳ない気持ちでは有りますが、楽しい中にも緊張の面持ちで日々の勤めで勉強させて頂いており、有り難い限りで御座います。

市内の近況としては、類にもれなく人口減少による、財源不足、人手の不足により民間企業は厳しい状況で、これにコロナ騒ぎも加わり今後の行き先不安を隠しきれないところではありますが、じつとしておりましては始まらない事もあり、何とか対策をと考えてみます処、江津市の特筆すべきところとして、現在の浅利工業団地での誘致企業様のご活躍が非常に目を引く状態です。この時期に於いて

工場を増築や新規での進出が相次いでおり、県内でも有数の工業団地に育ってきております。母校も県内への就職が近年増加し地元就職者も増加に転じております。これも

県・市・一体となり誘致に力点を置いて頂いた行動の賜物と考えます。そのことにより産・官・学の結びつきが出来上がり、好循環が生まれつつあると思えます。しかしながら如何ともし難いのが、子供の減少による新入学生の減少が著しく、先生方におかれましては中学校は元より、小学校へも学校紹介として出前授業されるなど、苦勞の連続で

有ります。微力ではありますが民間企業の一員としてお手伝い出来ればと思えます。また、個人的な事ではありますが、新年には定年年齢に達しますが、会社の恩情により再雇用となりましたので今後も一層の精進をしていきます。これからも江工会の皆様方による御教示の程宜しくお願



関東支部

「渦巻く新型コロナウイルスと激変の2020年」

原 田 七 洋

(建築科 昭和三十七年卒業)



い致します。最後になります。が、これから更に寒さが厳しさを増してきます。皆様方には、くれぐれもお体を御自愛ください。

コロナウイ
ルス感染拡大
の中、皆様の
かがお過ごし

でしょうか。九月には安倍内閣が七年八月月在位最長記録を達成し総辞職した。引き続き菅内閣が発足し、安倍内閣からの拉致問題を始め、残された課題を継続して行くという、就任早々学術会議の任命問題で物議をかもしだしている。前途多難である。

十一月にはアメリカ大統領選挙で現職共和党のトランプ氏を民主党のバイデン氏が破り七十七才の高齢で初当選した。

なんとといっても一月末中国

武漢で発生した新型コロナウイルスがアツという間に全世界に広がり、わずか十ヶ月後の十一月には、世界の感染者数はなんと五千万人、死者は一四〇万人にも達成している。

日本でもクルーズ船から端を発し、十一月には十一万人にも達している。更に現在も増え続けている。各自自治体企業様々な対策を打ち出している。三密(密閉・密接・密集)、ステイホーム、オンライン、クラスター、マスク、ロックダウン、無観客試合、ソーシャルディスタンス(社会的距離)等々、又景気の落ち込みと消費の底上げのため、G O T Oトラベル・G O T Oイートなどまったく新しい言葉が出回ってきている。この時期何を行動するか迷うばかりである。何か趣味を伸ばすとか、不得意な事を学ぶとか考えざるを得ない。私の場合江工時代に山パ

ル工場のテニスコートで二年半部活で活動した、社会人になってもリタイヤしてからも続けている(今年は一三〇四ヶ月コートが閉鎖された)又昔とったきねづかで習字も役八

年挑戦している。スマホもパソコンも上達したいと思っている。景気後退による人員削減、求人率低下、江工生諸君も就職もままならぬと思う。基礎知識はもちろん、何か得意科目を身につけること、また趣味を会得し柔軟に対応してもらいたいと思う。十月には何ヶ月ぶりに役員会を開いた。わずか八名であった。今年にはゴルフコンペ、野山の散策も中止にしており来年二月

関東支部の総会も中止の結論に至った。役員会は千駄ヶ谷のインテスビル十一階で催しているが、道一本挟んで隣接するところに新国立競技場がある。夜は照明が点っているが何か弱々しい。来年のオリピック・パラリンピックは予定通り開催されるのか予断を許さない。毎日、新聞を見るたびに島根県の感染者が増えているのか、ゼロの日は胸を撫で下ろしている。ワクチン開発も急がねばならない。最後に皆様一人一人が不用不急の外出自粛とマスク着用を心がけ健康であられん事をお祈り致します。

祈り致します。

関西支部

「コロナに負けることなく」

副支部長 堀越 保幸 (建築科 昭和五十一年卒業)



江工会会 員、そして卒業生の皆様には、昨年来の

コロナ禍の中、お変わりなくお過ごしであれば幸いです。

昨年、関西支部では「第六十四回総会」の次年度延期をはじめ、定期役員会も含めた始どの支部活動を見合わせ、唯一ゴルフ同好会のみ開催時期や感染対策を考慮の上、開催するに止まりました。

その中で、コロナの小康状態にあった十月、関西支部会 員でもある歌手の山崎ていじさんの声掛けで「A五十一関西地区同期会」を開催しました。関東支部の小笠原支部長も駆けつけ、中には卒業以来四十四年振りの再会もあり、お互いの変貌ぶりに戸惑いながらも旧知の親交を温めました。

二〇二一年は関西支部設立

「六十五回記念総会」開催の年を迎え、昨年延期した「第六十四回総会」と同時開催を予定しております。

例年六月の開催ですが、状況を凝視しながら出来れば年内開催に向け準備を整え、「石見神楽」や「歌謡ショー」等のアトラクションを持って会員の皆様方と明るく楽しい時間を共有し、コロナに負けることなく、同窓の絆を一層深めたいと考えます。

どうか関西支部会員のみな らず、各支部の会員、同級生、先輩・後輩、家族・友人等、多数のご参加をお願い申し上げます。

今後共、本部をはじめ、各支部の皆様にはご指導、ご支援のほどお願い申し上げますと共に、コロナの一日も早い終息と会員・卒業生そしてご家族の皆様方のご健康を心からご祈念申し上げます。

昨年、中上清之副支部長の尽力により、江工会の「掲示板」を開設しました。各支部の会員・卒業生の皆様もお気軽に閲覧・ご投稿ください。

【掲示板】

タイトル：江工会 teacup

(パソコン・スマホで検索下さい)

URL <http://9218.teacup.com/goko/bbs>

【関西支部事務局連絡先】

株丹生丸山勝美 (A四十二) TEL

〇七二七七八一一八二七

FAX

〇七二七七七七一五五四



2020年10月24日 A51関西地区同期会

※写真：左より(敬称略)

小笠原万正 中田 学 堀越保幸 仲藤 昇 中上清之 山崎ていじ 西村真二 平木 茂 (野田優：翌日合流)

山口県支部

「江工会の発展を祈願」

支部長 大屋 節 雄 (工業化学科 昭和三十八年卒業)



皆様、明けましてお目出 とうございます。

令和二年度は、新型コロナが世界中に蔓延し、日本も三月から自粛、自粛ですべてのコミュニケーションを伴う行事が中止、ホテル・レストラン等の倒産、失職する人が出て、大変な年となりました。当岩国地区でも、十一月初旬から先週まで接待を伴う飲食店で新型コロナウイルスが発生しました。その後落ち着きつつありますが、小学校、中学校、高等学校は、感染対策をしっかりと授業はされております。運動会は生徒のみ。保護者の参加は限定されていきました。

令和元年四月二十一日は山口県湯田温泉で十六名で総会を開催しました。その時の集合写真です。また令和二年四月十二日に江工会山口県支部

総会を開催する計画で細部にまで実行計画を立て、いざ実施の直前で新型コロナの問題で中止せざるを得ない事となり、大変残念な事になりました。その後、江工会山口県支部の諸活動は停止してあります。コロナが落ち着き次第、開始したいのですが、何時になることやら。

支部の活動が出来ない中、ビッグなニュースはありませんが、何よりも皆さん、健康で気持ちに減入る事なく頑張りましょう。

最後に江工会本部の益々のご発展、並びに江工会関係者のご健康とご多幸を祈願しております。



第58回江工会山口県支部総会 平成31年4月21日 於 翠山庄

◆ 事務局だより ◆

令和二年
一月〜十二月

◇二月十六日(日)
会報五十四号発行

県内外各支部、卒業生在籍地元企業、現教職員、在校生、同窓会等に配布

◇二月十六日(日)
関東支部総会

(場所：東海大学校友会館)

総会では小笠原支部長の挨拶、来賓挨拶、事業報告、監査報告の後、次年度の活動計画と予算案について審議が行われました。

懇親会はアトラクションとして山崎ていじ氏のコンサートで盛り上がりました。

また、本校後援会会長今井久師氏から後援会への支援についてお礼の挨拶がありました。

本部より、岡本正友副会長、岩田泰典事務局員が出席しました。

◇二月二十八日(金)
新卒者入会式

江工会入会式(令和元年度卒業生六十四名)

江工会会長 土井 正人氏
(工業化学科 S 三十九年卒業)より式辞をいただく。

◇江工会理事会・総会 中止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、書面による決議としました。

送付数九十二名(理事五十二・評議員四十)、回答数五十八名(理事三十八・評議員二十)

◇関西支部総会 延期

新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期になりました。

「第六十五回記念総会、第六十四回総会及び大同窓会」として、令和三年六月上旬にホテルヴィスキオ尼崎にて開催予定です。アトラクションとして石見神楽の上演や山崎ていじ氏の歌謡ステージを予定しています。

◇七月十八日(土)
浜田支部総会

(場所：鈴蘭別館)

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行い、旧弥栄支部を加え新組織としての総会が開催され、岡本支部長の挨拶、来賓挨拶、事業報告、監査報告の後、次年度の事業計画と予算案について審議が行われました。

本部より、土井正人会長、福田 稔副会長が出席しました。

◇二月二十九日(土)
弥栄支部総会

(場所：小松路)

森下政昭支部長の挨拶、学校の近況報告の後、浜田支部への合流について審議され承認されました。これにより、弥栄支部総会は今回が最後となりました。

懇親会は和やかな雰囲気での思い出話などを語り合い盛り上がりました。
本部より、岩田事務局長が出席しました。

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます。

旧職員

- 花吉 伸生
- 永井 栄
- 和田 匡弘
- 南原 慎人
- 天津 邦之

会員

- 松浦 三男
- 堀 義春
- 藤森 光廣
- 渡邊 節夫
- 竹下 實男
- 梅谷 一雄

- 矢研田 伸夫
- 三 明 章
- 津野 孝介
- 佐々木 英雄
- 山崎 孝道
- 藤 田 實
- 山根 博光
- 真 田 穰
- 伊藤 勝三



編集後記

多忙な折り、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。お蔭さまで第五十五号を発行することができました。

なお、今後とも会報に対しましてご意見、情報等(同窓会報告、会員消息等)がございましたら事務局へご連絡をお願い致します。(事務局 三浦)



平成31年度 江工会一般会計 決算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1 繰越金	1,338,739	0	1,338,739	1,338,739	0	平成30年度繰越金
2 会費・入会金	691,200	0	691,200	693,903	△ 2,703	R1年度卒業生64名分H30年度卒業生1名分利息含む
3 寄付金	10,000	0	10,000	30,000	△ 20,000	関東支部より
4 繰入金	0	0	0	0	0	
5 雑収入	61	0	61	10	51	預金利息
収入合計	2,040,000	0	2,040,000	2,062,652	△ 22,652	

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1 工業教育振興会費	10,000	0	10,000	10,000	0	県工業教育振興会への助成
2 会報発行費	150,000	0	150,000	132,000	18,000	会報54号 2000部発行
3 記念品費	40,000	0	40,000	31,168	8,832	卒業生への角筒64名分
4 会館運営費助成	150,000	0	150,000	150,000	0	江工会館運営費への助成
5 通信費	35,000	0	35,000	24,128	10,872	総会案内、会報発送料
6 旅費	300,000	0	300,000	184,120	115,880	各支部総会出席旅費
7 会議費	200,000	0	200,000	107,600	92,400	各支部への支援費
8 慶弔費	30,000	0	30,000	16,038	13,962	生花、弔電
9 雑費	30,000	0	30,000	7,040	22,960	広告料
10 積立金	200,000	0	200,000	200,000	0	定額貯金
11 予備費	895,000	0	895,000	0	895,000	
支出合計	2,040,000	0	2,040,000	862,094	1,177,906	

令和 2 年度 江工会一般会計 予算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	前年度当初予算額	増 減	備 考
1 繰越金	1,200,558		1,200,558	1,338,739	△ 138,181	H31年度からの繰越金
2 会費・入会金	691,200		691,200	691,200	0	R2年度卒業生64名分 10800円×64名
3 寄付金	10,000		10,000	10,000	0	
4 繰入金	0		0	0	0	
5 雑収入	42		42	61	△ 19	
収入合計	1,901,800		1,901,800	2,040,000	△ 138,200	

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	前年度当初予算額	増 減	備 考
1 工業教育振興会費	10,000		10,000	10,000	0	県工業教育振興会へ助成
2 会報発行費	150,000		150,000	150,000	0	会報55号 2000部発行
3 記念品費	40,000		40,000	40,000	0	卒業生への角筒64名分
4 会館運営費助成	150,000		150,000	150,000	0	江工会館運営費への助成
5 通信費	50,000		50,000	35,000	15,000	総会案内、会報発送料
6 旅費	300,000		300,000	300,000	0	各支部総会出席旅費
7 会議費	200,000		200,000	200,000	0	各支部への支援費
8 慶弔費	30,000		30,000	30,000	0	
9 雑費	30,000		30,000	30,000	0	広告料
10 積立金	200,000		200,000	200,000	0	定額貯金
11 予備費	741,800		741,800	895,000	△ 153,200	
支出合計	1,901,800		1,901,800	2,040,000	△ 138,200	